

平成29年度進行管理・評価シート
国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更 平成29年5月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	1
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	2
2 無形民俗文化財活動支援事業	3
3 国見石保存・活用調査事業	4
4 国見町歴史文化読本作成事業	5
5 歴史を活かしたまちづくり推進事業	6
6 文化財保存ガイダンス施設整備事業	7
7 案内ボランティア育成事業	8
8 周遊性向上検討・案内板設置事業	9
9 地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業	10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の維持・修理に関する取組	11
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	12
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組	13
4 文化財の防災に関する取組	14
5・6 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	15～16
7 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	17
8 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	18
9 文化財の保存・活用に関わる近隣市町村等との連携・協力した取組	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「義経の腰掛松」保護の建屋完成等	20
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	21
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
計画の実現に向けた推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。

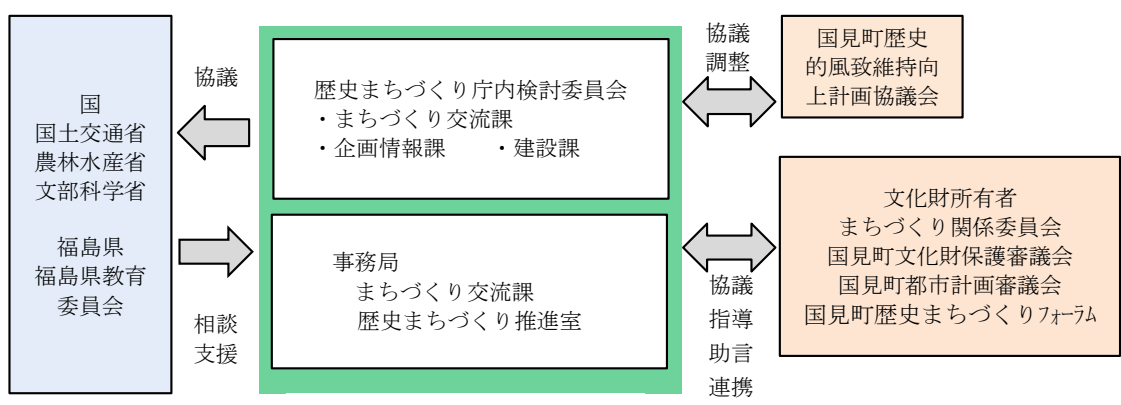
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第3回国見町歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、進捗管理に関する報告・協議を行った。また歴史まちづくり庁内検討委員会を開催し、事業の実施に係る調整、情報収集(主に阿津賀志山防塁整備事業に関する件)を行った。更には、国見町文化財保護審議会を開催し、取組に関する報告・意見聴取及び新規町指定文化財に関する審議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくり計画の事業推進に向け、一層の情報共有と、目的の共有化を図ることが必要であり、連携を強化していく。
--	---

状況を示す写真や資料等



■計画の推進体制図

●平成29年度歴史まちづくり庁内検討委員会構成

企画情報課長	1名	総合政策室	1名		
建設課長	1名	建設係	1名 管理係	1名	
まちづくり交流課長	1名	歴史まちづくり推進室	4名	商工観光係	1名
		道の駅準備室	1名		



●会議の状況

会議名称	開催年月日	概要
第3回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	平成29年5月17日	平成28年度進行管理評価等
第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成29年6月1日	阿津賀志山防塁整備(下二重掘地区)について
第1回国見町文化財保護審議会	平成30年3月1日	29年度実施状況、30年度事業計画

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
阿津賀志山防塁史跡整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～36年度

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業、史跡等買い上げ事業

計画に記載している内容 史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要な情報を得る為の、史跡内容確認調査を行うとともに、堀・土塁などの復原整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①『阿津賀志山防塁整備基本計画』(仮)の策定に向けた整備・調査指導委員会の開催(平成29年5月17日・9月12日)
- ②史跡整備に向けた第21次発掘調査の実施(平成29年6月19日～8月23日:下二重堀地区)
- ③国道4号北側地区 7筆(3613m²)の公有地化

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

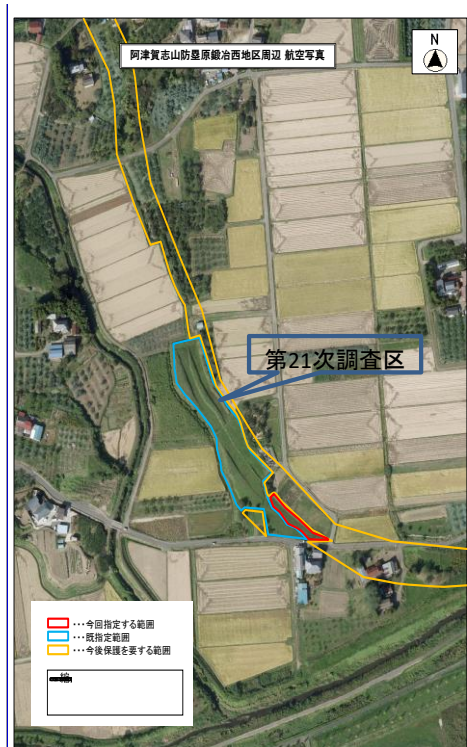
状況を示す写真や資料等



整備・調査指導委員会



委員会現地視察・指導(5月17日)



発掘調査地区



21次調査現地説明会(7月29日)



19次調査により発掘された堀跡
21次調査外堀調査状

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財活動支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成27年度～36年度
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業
計画に記載している内容	祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく取り組みに対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①町指定無形民俗文化財の保存団体である2団体に対し、文化財保護育成にかかる活動について助成(国見町社会教育関係団体補助金)を行った。
- ②内容春日神社太々神楽について、明治初期に伝わった全26座のうち継承が途絶えていた演目8座について、昨年度復活させた4座に続き、今年度事業で残りの4座を復活・映像記録撮影を行った。
- ③子どもへの継承を図る、公民館と連携した子ども太々神楽教室を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■内容春日神社太々神楽演目復活プロジェクト
 福島県三春地方の田村市大倉の太々神楽保存会と交流し、指導を受けることで残りの4座が復活し、全26座の復活に成功。舞を記録撮影。

■無形民俗文化財支援

タイトル	年月日	概要
内容春日神社太々神楽演目復活プロジェクト	平成28年6月～平成30年3月	演目4座復活、映像記録(文化庁事業)
内容春日神社太々神楽教育普及本制作	平成28年度	教育普及本(文化庁事業)
内容春日神社太々神楽保存会への支援	平成28年度	助成金(町単独)
国見伝統文化保存会への支援	平成28年度	助成金(町単独)、フォトコンテスト支援
子ども太々神楽教室	平成28年度	公民館事業、伝統芸能継承支援(町単独)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
国見石保存・活用調査事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～29年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	国見町内において現在石工技術を継承している職人の協力を得ながら石蔵や国見石を使用した建造物の悉皆調査を行い、件数や用途について把握する。併せて、利活用の検討と石工を含めた国見石の保存組織等の結成を推進する取組を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郡山女子大学と連携し、石工職人の変遷及び石蔵の工法に関する調査事業を実施し、国見石の生産体制や石工数の変遷及び石材価格の変遷について明らかにすることができた。また、町内で現存する大規模石蔵の一つである大木戸宮原の石蔵の実測調査等を行い、その構造や規模及び詳細な資料の存在等から、当町における石蔵形式の指標となる存在として史的価値が高いことが明らかとなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">旧大木戸村農協石蔵 外観</p>		 <p style="text-align: center;">旧大木戸村農協石蔵 実測</p>	
 <p style="text-align: center;">旧大木戸村農協石蔵 内部調査</p>		 <p style="text-align: center;">旧大木戸村農協石蔵 資料調査</p>	

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
国見町歴史文化読本作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～36年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 阿津賀志山の合戦、鹿島神社の例大祭など各地の歴史や史跡・建造物と人々の活動をそれぞれのテーマ毎に調査成果をまとめ、「歴史文化読本」(仮称)を作成する。また小中学校の授業とも連携し『国見学』を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町の文化財や人々の活動等の周知啓発を図るため、歴史や文化財を網羅し小中学生や来町者に分かりやすく、歴史めぐりができる読本を作成する。
 当該事業については、平成31年度に印刷・製本(推敲含む)及び町民への配布を予定しており、今年度は発行に向け取材、編集作業を実施し初校までの作成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



第1章 くにもみの歴史

原 始 (旧石器時代・縄文時代・弥生時代) …… 8
 古 代 (古墳時代・奈良時代・平安時代) …… 12
 中 世 (鎌倉・南北朝・室町・戦国・安土桃山) …… 16
 近 世 (戦国末期・江戸) …… 20
 近現代 (明治・大正・昭和) …… 24
 近現代 (国見町の産業) …… 28
 国見町の領主変遷・年表 …… 30
 ～未来へ向かって～ …… 32

第2章 くにもみのたからもの

[エリア]

阿津賀志山防壁エリア
 敵の進攻を遅る長大な要害…34 二重堀の構造…35
 合戦に至るまで…36 奥州合戦最大の激戦地となる…38
 伊達氏による支配の始まり…39
 防壁と関連文化財群を巡ってみよう…40

旧奥州街道エリア
 旧奥州街道藤田宿…45 旧奥州街道藤田宿の見どころ…46
 旧奥州街道貝田宿…49 貝田宿の名残…51
 旧奥州街道国見峠長坂跡…55

旧羽州街道エリア
 旧羽州街道 小坂峠跡 (町指定史跡) ……57
 小坂宿…57 半田嶺山…58 伊達成宗の墓…58
 深山神社「回米の給馬」と「大権大藤」…59

光明寺エリア
 御堂神社…61 三常院御堂…62
 福聚寺と伊達朝宗夫人の墓…62

[テーマ]

民俗芸能
 1.春日神社…64 2.祭礼の準備・神楽奉納…65
 3.太々神楽について…66 4.神輿渡御…67

祭 礼
 1.鹿島神社…70 2.鹿島神社例大祭…71
 3.例大祭の準備…72
 4.例大祭前夜祭、例大祭1日目例大祭・宮話、2日目神幸祭(神輿渡御) ……73
 5.祭りのハイライト「もみ合い」…76

産 業
 1.石蔵と石工技術…78
 2.石蔵建設の先駆者伊藤柳太郎…80
 3.石蔵の変遷…82 4.石蔵の普及…83
 国見町「石蔵図鑑」…84

「くにもみ歴史本」(仮称)表紙、目次

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
歴史を活かしたまちづくり推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～36年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業		
計画に記載している内容	歴史を活かしたまちづくりや地域住民のまちづくり参加への意識醸成及びまちの魅力の再発見が重要かつ必要であり、住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点をもった歴史まちづくりシンポジウムを開催した。 ①第8回シンポジウム「女子大生が教える石蔵のみどころ」「石工座談会:石工の技術と国見石の魅力」(国見お宝再発見「石工(ロック)フェスin石蔵2017にて、400名来場) ②第9回シンポジウム「地域の文化遺産を活かした歴史まちづくりに向けて～あまり知られていないけれども、実はすごい国見の話～」(63名参加)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



長田研究室の学生2名による石蔵の講演
スタッフとして郡山女子大生29名が参加



弘前大学大学院平井太郎氏ほか講師3名による
国見町が持つ地域資源に関するパネルディスカッション

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財保存ガイダンス施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業(文化庁)

計画に記載している内容 旧大木戸小学校校舎を、歴史文化に関する貴重な資料の収蔵・保管・展示の施設として整備し、来訪者への阿津賀志山防塁等のガイダンス及び周遊拠点として活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ① 収蔵庫に新たに収蔵棚を設置。展示室に新展示ケースを設置。
- ② 研修室2を展示スペースとして活用し、展示内容の充実を図った。
- ③ 29年1月10日にオープンし、30年3月までに5,430人(月平均360人)の来館者。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



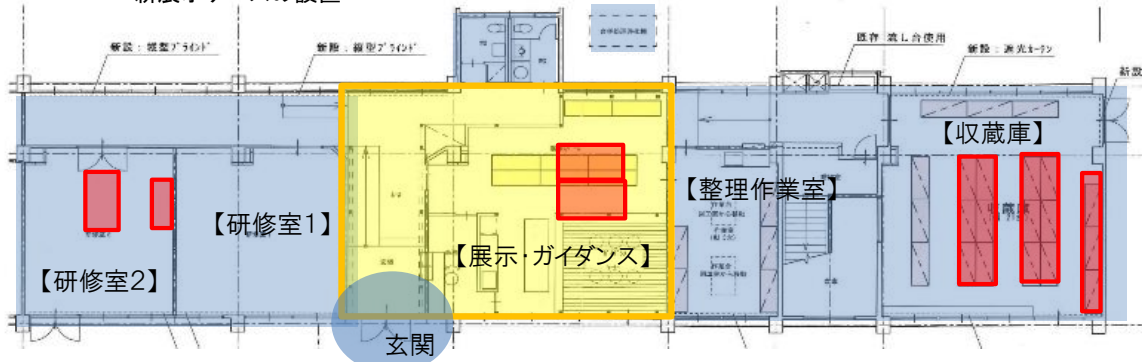
収蔵棚の設置



新展示ケースの設置



研修室2を利用した展示



- ...平成27年度実施箇所(主に建築改修工事の範囲)
- ...平成28年度実施箇所(主に建築改修工事の範囲)
- ...平成29年度実施箇所(主に備品設置箇所)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
案内ボランティア育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～36年度

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語るができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財が所在し、現地での案内ガイドがセットになることで、魅力・価値が高まる。案内ガイドを担うボランティアガイドの育成を図った。現在案内ガイド「国見町文化財ボランティア」は20名が登録。養成講座に3名が受講。前期は基礎研修として養成講座・研修会3回、後期は応用研修として、くにみ案内人養成講座3回の計6回実施し、のべ103名参加。
(前期は町内史跡、文化財にて実地研修、後期は外部講師を招き町内1回、町外2回での研修)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ガイドの資質向上と、多くの来町者に対応するための養成が継続的に必要。

状況を示す写真や資料等



国見町文化財ボランティア研修会6月25日
「阿津賀志山防塁」実地研修



国見町文化財ボランティア研修会・養成講座
「旧佐藤家住宅」実践研修10月31日
現地での実践的な案内ガイド研修を行う



くにみ案内人養成講座12月17日
「くにみを知る」ワークショップ



くにみ案内人養成講座2月18日
「先進地を知る」現地研修
※写真は宮城県村田町

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
周遊性向上検討・案内板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～32年度

支援事業名 町単独事業、福島県観光力づくり支援事業

計画に記載している内容 来町する観光客が、本町の点在する文化財を効率よく、かつ楽しみながら観光できるより良いルートを検討し、周遊案内板の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道の駅・鉄道を拠点とした周遊観光ツアー及び周遊マップの作成を行い、町の歴史をはじめとした豊富な観光資源の周知啓発を図った。
 ①くにみ秋のご案内week♪:道の駅を拠点とし、約3週間に渡り秋のくににみの見どころ案内、周遊観光ツアー(4日間計8回)を実施。 ②町内歴史散策ツアー:町イベントやJR東日本と連携し、町内の歴史を散策するツアーを開催(計2回)
 ③周遊マップ作成:道の駅を拠点として歴史めぐりをする際のルートや、飲食店、駐車場、トイレ等の便益施設を掲載したマップを作成。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【秋のくにみご案内week♪】
 <11/11(土)国見石の石蔵と歴史巡り&石窯ピザ体験>

【町内歴史散策ツアー】
 <11/23(木)大木戸周遊バスツアー>



【観光マップ】
 課内全員で掲載する内容やルートの検討等を行い、町内の周遊性が向上するよう工夫。

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
文化財の維持・修理に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①国史跡「阿津賀志山防塁」ほか町史跡等における草刈 10か所 ②福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 3回実施 ③文化財パトロールの実施 ④天然記念物「深山神社の大榎・大藤」の保護に関する取組(強風による倒木の伐採及び整備)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



国史跡「阿津賀志山防塁」草刈作業



県重文「旧佐藤家住宅」燻蒸作業



藤田城公園 倒木伐採



天然記念物の保護に関する取り組み
(町天然記念物「深山神社の大榎・大藤」)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本町は、国見町観月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関する機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財センターの整備とともに、現地の保存・活用施設を充実させることで、周遊する訪問者の利便性を向上させる。 ①文化財保存ガイダンス施設整備事業(評価軸③-6参照)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



あつかし歴史館 展示用タペストリー



あつかし歴史館 収蔵棚



あつかし歴史館 展示ケース



あつかし歴史館 展示台座

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①阿津賀志山防塁4号北側地区において、史跡買上げ事業が実施されたことにより、景観の阻害となっていた樹木の一部が取り除かれ、景観の改善が図られた。 ②指定文化財周辺における開発にかかわる景観についての相談を受け付け、地元住民団体との意見交換を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>内土塁</p> <p>施工前</p>		 <p>施工後</p>	
阿津賀志山防塁史跡買上げ事業実施箇所 (福島県伊達郡国見町大字大木戸字阿津加志山一1番79 (北から))			
			
案内看板の見回り・点検		劣化個所の応急修理	

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
文化財の防災に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①防火に対する取組 ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所で実施(1月28日) ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知するポスターの作成および広報 ②被災文化財に対する取組 ・昨年被災した「旧佐藤家住宅」の記録作成と復旧方針の検討、応急工事の実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続した啓発活動の実施。		

状況を示す写真や資料等



消防訓練の様子 県重文「旧佐藤家住宅」



昭和24年1月26日、法隆寺(奈良県法隆寺町)の金堂から出火し、飛鳥時代の代表する貴重な壁画が焼損してしまいました。このことをきっかけに昭和25年に文化財保護法が制定され、昭和30年に「文化財防火デー」が定められました。以来、この日を中心に全国各地で文化財防火運動が展開されております。近年も貴重な文化財が、火災により焼失や傷つけられる事例が残念ながら見られ、引き続きの取り組みが必要です。国見町の宝である文化財を100年、200年先の未来に伝えていくために、町民の皆様には、文化財を管理する方々とともに、文化財保護への御協力をお願いいたします。

福島県教育委員会・国見町教育委員会

文化財防火デー周知ポスター



「旧佐藤家住宅」背面萱抜け落ち状況(グシ付近)



「旧佐藤家住宅」応急処置実施状況(西から)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対しての普及・啓発を広く図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建造物等の公開、学校教育との連携、歴史講座・まちあるき、祭礼・市での連携活動、文化財の案内ガイドなどを実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「奥山家アフタヌーンティーパーティー」



「義経の腰掛松」公園再整備記念式典 & ギャラリートーク

■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
あつかし歴史館イベント	平成29年5月～平成30年2月	歴史と年中行事にまつわるイベント 4回述べ約800人
奥山家公開(くにみしゅらん)	平成29年5月～7月	奥山家内部公開 3回延べ48人
校外学習(事前講義)	平成29年4月13日	県北中学校1年生 国見町と平泉の関わり
総合学習での国見学の取り組み①	平成29年5月30日	国見小学校6年生史跡探検隊 72人
「義経の腰掛松」公園再整備記念式典&ギャラリートーク	平成29年6月6日	再整備記念式典及びギャラリートーク 30人
石工(ロック)フェスin石蔵 2017	平成29年9月9日	旧小坂村産業組合石蔵で体験型イベント400人
奥山家一般公開(義経まつり)	平成29年9月23日	奥山家住宅洋館を一般公開 713人来館
藤田宿まちあるき(義経まつり)	平成29年9月23日	藤田宿のスポットをまちあるき 43人参加
道の駅発着! 秋のくにみ周遊ツアー	平成29年10月28日～11日	庁内周遊ツアーの実施。4日間計8回 118人
道の駅あつかしの郷から巡る 秋のご案内Week	平成29年10月28日～12日	道の駅特別ブースで案内対応 計8日間 約400人
旧佐藤家住宅公開	平成29年11月3日～4日	民話の会民話語り、内谷太々神楽公演
奥山家アフタヌーンティーパーティ	平成29年12月17日	奥山家洋館英国式ティーパーティ 26人参加
かまどdeご飯(桜の聖母短大)	平成30年1月13日	国見石のかまどでの炊飯実演 100食提供
総合学習での国見学の取り組み②	平成30年1月31日	国見小学校3年生 旧佐藤家住宅 71人
奥山家一般公開(フードフェスタ)	平成30年3月4日	和館で江戸時代の雛飾り展示 695人来館
文化財ボランティア案内件数	平成29年度	70件2,902人(平成28年度48件1,783人)

評価軸④-6
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容
本町にある多くの文化財や歴史的遺産は町の成り立ちに大きく関わっている「国見のたからもの」であり、意識が醸成される過程で自らの町の歴史性や風土、この地に伝わる伝統や人々の共同体としての意識が培われていき保存・継承活動に対する理解も深まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

町民にとって身近な町の広報紙「広報くにみ」で町内の歴史的、文化的に貴重な「たからもの」を募集・紹介。「国見のたからもの」の写真とその解説を毎月掲載。平成26年6月号から平成30年3月までに46回掲載。また、平成29年7月から、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組について毎月掲載する「歴史さんぽ」を、平成30年3月までに9回掲載。

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



泉田小学校跡(泉秀寺)
泉田にある泉秀寺は、明治6年7月に創設された泉田小学校の跡。当時は、本堂が仮校舎として使われていました。明治5年に公布された「学制」、日本の近代教育の礎となった制度ですが、混乱する時代にあつて、泉田小学校の創設はとても早いものと言えます。江戸末期には、「寺子屋」が地方の農村まで広く普及していたと見られており、泉秀寺が学教以外の役割を担っていたからこそ、早期に小学校が創設されたと考えられます。ここは、国見町の学校教育発祥の地として、平成5年に町指定史跡となりました。今に続く、国見町の学校教育の「原点」として大切な「たからもの」です。
【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】



大木戸窯跡群(昭和47年の発掘調査の様子：阿部恒夫さん提供)
福島県内では7世紀末頃に古代郡役所(郡衙)が整備され、律令制度による統治が始まることから知られています。国見地域では、8世紀前半に役所生活などで必要な須恵陶を生産していた大木戸窯跡群が存在し、郡衙整備の一環として持ち込まれた産業の一つと考えられます。写真は、現在の新溜ため池の法面で発掘された窯跡を調査している様子です。町内の本格的な発掘調査としては早い例の一つで、県内須恵陶研究においても欠かせない資料の一つとなっています。
【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを活かした「歴史まちづくり」の取組を進めています。町や地域が行うこの取組の進捗について、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつちし歴史館 ☎ 585-4520】

“石のまち国見”を再発見!! 「石工(ロック)フェス in 石蔵 2017」より
今号では、9月9日に開催した「国見お宝再発見 Vol.2 石工(ロック)フェス in 石蔵 2017」の様子より、国見石・石蔵の魅力、活用についてお伝えします。

～国見が誇る石工の技術!! 石工匠談話会～
国見石は柔らかな材質が均一であり、加工がしやすいことが特徴です。昭和30年代後半頃より、大谷(栃木県宇都宮市)の最先端の機械技術を取り入れ、大量の切り出し・加工が可能となりました。石蔵は町内一帯に普及し、その技術の高さから県内外より発注を受け建築していたということです。

～石蔵の構造を学ぶ!! 石工ワークショップ～
田代村産業組合石蔵は木骨石造の平層建て。その構造や石工が使う道具について、スタンプで石蔵を建築しながら学ぶワークショップを行いました。

～国見石・石蔵の活用の可能性を探る～
国見石は火に強いという特徴があり、昔から頭巾葺やかまどに使われてきました。また、今回はミニコンサートを開催し石蔵の音響について体感していただきました。みなさんのお宅にある国見石・石蔵も新たな命を吹き込み、活用してみませんか。

評価軸④-7
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
埋蔵文化財の取扱いに関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、137ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

住宅建設および開発計画に伴う発掘調査を2件実施した。このほか開発及び除染工事等に伴う工事立会などを実施した。
 【開発に伴う発掘調査実施遺跡】・長障子遺跡 1件 ・阿津賀志山防塁 1件
 【開発に伴う立会】・山崎条理遺構 ・藤田城跡 ・塚野目古墳 ・正光寺跡 ・阿津賀志山防塁など 7件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



開発に伴う長障子遺跡の発掘調査(落とし穴列)



開発計画に伴う長障子遺跡の発掘調査(屋敷跡)



開発に伴う阿津賀志山防塁の発掘調査(外堀調査状況)



除染工事に伴う工事立会(塚野目古墳群)

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町には、文化財の調査・発信をしている団体や、無形の民俗文化財を保護するために活動している団体等、多種多様な活動を展開している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【町内民間団体】

- 国見町郷土史研究会による講演会、法部示品への執着、展示会講座
文化祭展示(11月)「国見人物従来史」30人参加
11月19日 小坂方部研修会 フィールドワーク、薬師堂・旧小坂村産業組合・太々神楽・内谷館跡(愛宕神社) 43人参加
12月3日 歴史講演会「伊達郡の市と連雀商人」40人参加
3月6日 方部研修 笠松金次氏「遥かなる西大枝村物語」33人参加
- 内谷春日神社太々神楽保存会
文化祭における神楽公演(11月4日)および各イベントでの公演(11回)
子ども代々神楽教室(公民館連携事業)
太々神楽4座復活プロジェクト
- 国見町中尊寺蓮育成会の育成による中尊寺蓮の育成
10月 絵画コンクールの開催 200名からの応募
- 国見伝統文化保存会による鹿島神社例大祭フォトコンテスト実施 17点応募
- 小坂まちづくりの会によるウォーキング大会等イベント開催
- 大木戸歴史むらづくりの会との連携
5月～2月 あつかし歴史館イベント 計4回、来場者のべ約800名

【町外団体】

- JR東日本による「駅からハイキング」の開催 3回開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



郷土史研究会の歴史講演会



子ども太々神楽教室



中尊寺蓮絵画コンクール



あつかし歴史館×大木戸歴史むらづくりの会
ひなまつりイベント～ももの節句を祝う～

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 当町の文化財を保存・活用していくためには、本町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【主催事業】

- 福島大学 域学連携事業(内容集落活性化、徳江集落活性化、小坂宿まるごと博物館、大木戸まるごと博物館)
- 桜の聖母短期大学 域学連携事業(貝田フィールドワーク)

【共催・後援事業】

- 公益社団法人横浜歴史資産調査会ほか主催「シルクロードネットワークふくしまフォーラム」後援

【その他】

- 伊達市・桑折町・福島市との連携に係る意見交換
- NPO民俗芸能を継承するふくしまの会による民俗芸能サポート事業への参加

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「桜の聖母短大貝田FW」佐野屋見学



「桜の聖母短大貝田FW」かまどでごはん



「シルクロードネットワークふくしまフォーラム」での地域紹介

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「義経の腰掛松」保護の建屋完成	平成29年6月22日	福島民友
石工フェスin石蔵2017	平成29年9月18日	福島民報・民友
火おこしで縄文人気分	平成29年9月20日	福島民友
文化財生かしたまちづくり探る	平成29年11月26日	福島民友
「石碑を拓本で紹介」あつかし歴史館特別展	平成29年12月21日	福島民報・読売新聞
鹿島神社例大祭フォトコンテスト	平成29年12月21日	福島民報・民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

- 域学連携に関する記事
 - ・大木戸地区の歴史解説 福大生、現地で調査発表 大木戸まるごと博物館(平成30年1月28日 福島放送)
- 文化財センターに関する記事
 - ・福島県文化財センターとの連携企画 あつかし歴史館にて火おこし・弓矢など縄文体験(平成29年9月20日 福島民友)
 - ・国見町郷土史研究会との連携事業 あつかし歴史館にて町内の石碑群の拓本展示(平成29年12月21日 福島民報・読売新聞)
- 祭礼・イベントに関する記事
 - ・「義経の腰掛松」の建屋保護施設完成式典(平成29年6月22日 福島民友)
 - ・国見・鹿島神社フォトコンテスト(平成29年12月21日 福島民報・福島民友)
- 講演会・シンポジウムに関する記事
 - ・石材加工技術PR 国見で石工フェス(平成29年9月18日 福島民友)
 - ・日本遺跡学会(会場白河)にて「文化遺産とまちづくり 歴史まちづくり法による取り組み」をテーマにデスクッション。パネリストとして参加(平成29年11月26日 福島民友)



大木戸まるごと博物館(平成30年1月28日)



「義経の腰掛松」施設完成式典(平成29年6月22日)



あつかし歴史館にて石碑群の拓本展示(平成29年12月21日)



鹿島神社フォトコンテスト表彰式(平成29年12月21日)

評価軸⑥-1
 その他(効果等)

	評価対象年度	平成29年度
--	--------	--------

項目
 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等については、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成29年9月、義経まつりでの奥山家住宅一般公開は、来館者総数713名と昨年度とほぼ同数となったが、平成29年度文化財ボランティア利用者延べ人数及び利用団体数は2,902名、70団体の利用で前年度比約1.6倍と大幅な伸び率となった。歴史の町くにみのPR、情報発信拠点(平成29年5月開業「道の駅国見あつかしの郷」)の整備による連携事業及び歴史まちづくり計画認定事業の実施による効果が表れている。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

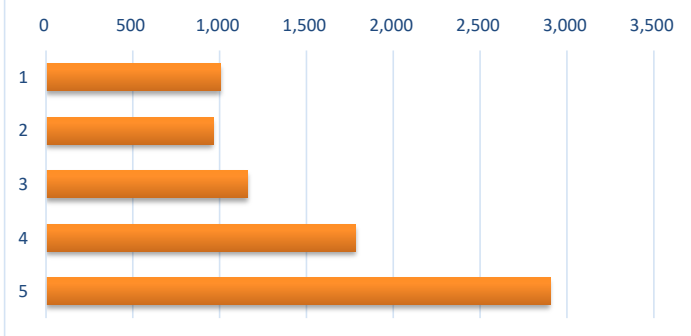
■国登録有形文化財 奥山家住宅洋館・主屋の一般公開

	来館者数	うち町外者数(割合)
平成26年9月23日 義経まつり	440名	290名(65%)
平成27年9月20日 義経まつり	652名	529名(81%)
平成28年3月5日 奥州街道フードフェスタ	651名	365名(56%)
平成28年9月22日 義経まつり	722名	459名(63%)
平成29年3月5日 奥州街道フードフェスタ	693名	485名(70%)
平成29年9月22日 義経まつり	713名	492名(72%)
平成30年3月4日 奥州街道フードフェスタ	695名	491名(71%)

■国見町文化財ボランティアの利用実績

年度	利用者延べ人数	団体利用延べ数
平成25年	1,005	14団体
平成26年	963	13団体
平成27年	1,160	34団体
平成28年	1,783	48団体
平成29年	2,902	70団体

案内ボランティア利用者数



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第4回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成30年5月25日 13時30分～16時00分	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【進捗評価について】</p> <p>①評価軸③ー7 案内ボランティア育成について目標人数はあるか。案内先の数が増えれば、ボランティアの人数も必要になるので、目標人数は設定したほうが良い。</p> <p>②ボランティア研修について、ボランティア経験者が指導する形になっているという話があったが、新規の養成はどのような体制で行っているのか。</p> <p>③ボランティアガイドの利用申請について、町内／町外の割合はどの程度か。</p> <p>④評価軸③ー8 マップはWEBでも見られるが、クリックすると拡大するようなど、見え方に工夫があると思う。また、解説や現地案内板にもQRコードの活用が必要。</p> <p>⑤歴史文化に関する小中学校での授業へ取り組みは行われているのか。</p> <p>⑥評価軸③ー2 平成29年度より小中学校の学習指導要領が改正され、「地域とのつながり」が強調されている。総合的な学習の時間と道徳科で「伝統芸能」等を活用してはどうかとの例示が明記された。今後、学校教育との協働が増えることが予測され、対応できるような体制が必要になる。</p> <p>⑦評価軸⑥ー1 奥山家の見学数がかかなり多い。所有者にかかなり負担がかかっているのではないか。ガイダンスの時間と回数を限定することも方法の1つでは。(奥山委員より:間違っ案内をする方があるので勉強してほしい)</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①人数は現時点では設定していない。現状としては高齢の方が多く、2年間で更新だが、体調の関係で見送る方がいる。仕事があつて厳しいが、若い方にも参加を促し、歴史以外の文化資源も含めた総合的案内ガイドとしての養成を目指している。</p> <p>②研修の段取りやテーマ設定、資料は事務局である役場が準備するが、研修を開始すると既登録者がそれぞれに自分の知っているエピソードなどを紹介いただいたりして、自然に講師となり教える形が繰り広げられ、大変ありがたい。</p> <p>③基本的には町外からの依頼がほぼ。町内利用としては、小学校の校外学習や町の事業(いきいきサロン、ウォーキングイベント、ご案内WEEK、奥山家住宅公開等)への協力など。申請書はHPからダウンロードできる。</p> <p>④HPへの掲載方法についてはぜひ検討する。またQRコードについては、これまでのタウンガイドにはついてはいたが、今回のマップには入れられなかった。今後の改定事業でぜひ検討する。</p> <p>⑤小学校と連携し、「まちの歴史探検隊」という授業で文化財ボランティアの方々も協力を得ながら歴史を伝える取り組みを行っている。</p> <p>⑥文化財ボランティアや地域の方にご協力いただきながら、対応していきたい。</p> <p>⑦公開時は歴史まちづくり推進室職員4人、文化財ボランティア6人を配置して案内を行っている。案内ガイドの研修にて奥山家住宅を取り上げるなどし、ガイド技術の向上を図ってきたい。</p>	